

札幌市営墓地の運営方法に関するサウンディング型市場調査の対話結果の公表について

令和2年3月27日
札幌市保健福祉局保健所生活環境課

1. サウンディング実施の経緯

市営墓地の運営方法について検討するにあたり、民間事業者の事業アイデアの把握や、指定管理者制度やPFI等の導入可能性の調査として、サウンディング型市場調査を実施いたしました。

2. サウンディングの実施スケジュール

令和元年12月3日	サウンディング実施要領の公表
令和2年2月3日～令和2年2月20日	サウンディングの実施
令和2年3月27日	サウンディング結果概要の公表

3. サウンディングの参加者

造園業 : 2者
公益法人 : 1者
石材業 : 1者
建築コンサル : 1者
合計 : 5者 (内2者がグループでの参加)

4. サウンディング結果の主な概要

対話の対象項目	対話概要
墓地の業務・維持管理に関する提案	事業の実施範囲について
	<ul style="list-style-type: none">・3霊園、17旧設墓地は一括管理できる。・維持管理、窓口等、現在直営で行っている業務と将来想定される業務を全て実施することが可能である
	市内に点在する市営墓地の管理方法について
	<ul style="list-style-type: none">・日常的に迅速な対応を行うため、市内を複数の地域に分割し、複数の企業で管理体制を構築する。・各霊園管理事務所での受付を行わず、市内中心部に窓口を設置し、その窓口で全ての受付を行う。
その他、管理、運営方法等に関するアイデアについて	<ul style="list-style-type: none">・土日祝も受付を行えるよう体制を整える・インターネットや電話受付等を充実させる・冬期間については、除雪等自主事業で雇用を保てるようにする。・冬期間については、他の期間と比べ収益が少ないが、夏の分の収益を冬に充て対応することも考えられる。・冬期間については、他業務（除雪など）を請け負うことにより社内で人員のやりくりは可能である。・民間霊園やその他終活に関する窓口を併設し、窓口を一本化

対話の対象項目	対話概要
参加加入条件に関する提案	<p>指定管理者制度を導入する場合の参加加入条件等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務区域、内容を明確にする ・日常の維持費とは別に、想定される修繕費を一定額計上してほしい ・霊園内で行う自主事業の許可 ・再公募を含む使用料等の指定管理費への充当 <p>PFI 制度を導入する場合の参加加入条件等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料が低廉なため、数種の事業（合葬墓の改築、新規墓所の整備、有期限の墓石付きお墓の公募等）をまとめて大規模に実施できること。 ・整備費償還のため、最低 20 年の期間が必要である ・管理事務所の改修や合葬墓の建設を含めていただければ対応はできそう。 ・事業規模が小さいため、基本的には難しいと思われる。
行政に対する支援等に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務を行うにあたり、墓地事務の研修を実施してほしい。 ・市内中心部に窓口を設置する場合に、市の施設提供や安価での間借りができるか検討してほしい。
その他アイデア、意見要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・全日本墓園協会が認定する「墓地管理士」の有資格者〇名以上など、「墓地埋葬等に関する法律」に沿った対応ができる業者を選定するようにしてほしい。

5. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回実施いたしました対話の結果、指定管理者制度や PFI 制度を導入した場合に、参加の意向がある業者がいること、また、管理方法については、3 霊園、17 墓地を一体とし、窓口業務を含めた総合的な維持管理の可能性があることがわかりました。

つきましては、今後、本サウンディング結果を踏まえて、効率的・効果的な事業方式の検討を進めます。